



やまなみ

山形市立大曽根小学校

学校だより

令和4年7月26日

校長

No.5 太田 千春

「笑顔」の1学期が終了

7月26日(火)、令和4年度1学期の終業式を行いました。今学期は、「笑顔」を合言葉にして取り組んだ73日間でした。児童代表で1学期頑張ったことを発表してくれた4年 児童は、委員会活動、家庭での予習・復習、水泳学習の3つをあげ、「2学期もあせらず、じっくりがんばっていきたい」と2学期以降の生活への意欲を述べていました。

今学期は、確かな学力を育成するための授業改善に注力しました。課題を共有し、互いの考えを基に話し合い、よりよい解決を図ります。前述の児童は、算数の予習・復習をがんばったところ、「自信がついてみんなの前で発表することが楽しく」なったそうです。

日々の学習をはじめ、様々な場面をとおして、笑顔での挨拶、友達に優しくしてもらったときの笑顔、できないことができるようになったときの笑顔など、一人一人のたくさんの笑顔を見ることができました。地域、保護者の皆様には、この1学期間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、本当にありがとうございました。



第2回学校運営協議会

7月13日(水)、今年度2回目となる学校運営協議会が行われました。前回お話し合いいただいた本地区の子供や学校、地域の課題解決に向け、①「地域と学校、子供の関わりを深める取組」と、②「みんなで取り組む読書習慣づくり」に焦点化し、熟議していただきました。コロナ禍にあって実現可能な学校行事、地域活動の在り方を工夫し、実施していく方向性が確認されました。



子どもの読書習慣の形成

今年度の読み聞かせ活動は、11名の地域・保護者の皆様から御協力をいただき、ビックリ座のパネルシアターを含め、計24回実施されます。また、先に募集した図書館ボランティアとして、4名の方々から御賛同いただき、学校図書館の環境整備が始まっています。学校と地域が相互の連携・協働のもと、一体となって子供たちの成長を支えていただいていることに感謝申し上げます。



大曽根味噌の仕込み完了

7月11日(月)から3日間、大曽根小サポート委員の新関徳次郎さんからお越しいただき、4年生が本校伝統の味噌づくりを教わりました。蒸したお米にこうじ菌を種付けし、繁殖・発酵させる過程も大成功！できた米こうじに塩をまぶし、つぶした大豆と混ぜ合わせる作業も手際よく進めることができました。4年生は、日本の食文化に関心をもち、総合的な学習の時間において探究を行っています。味噌づくりの先人の知恵に大いに学ぶ機会となりました。



授業参観・学級懇談会

6月28日のフリー参観に続き、7月14日の授業参観も分散開催にご協力いただき、学級懇談会と併せて実施いたしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校での子供たちの様子を直接ご覧いただく機会を設けることができませんでしたので、子供たちも嬉しそうにしていたのがとても印象的でした。ここにきて、全国的に感染が急拡大しております。今後も、基本的な感染症対策を徹底しながら教育活動を行ってまいります。



資源回収を実施

6月12日(日)、PTA評議員・事業部の皆様を中心に、資源回収を実施していただきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、回収作業に児童は参加しないこととし、保護者・地域の方々のみの活動となりました。この度の収益金は、協力金を含めて30,111円でした。子供たちの学びに還元できるよう大切にに使わせていただきたいと思います。暑い中、また、早朝から御協力いただき、本当にありがとうございました。



いじめに関する保護者アンケート

6月、全校児童及び保護者を対象に、いじめに関するアンケート調査を行いました。その結果、新たに2件を「いじめ」として認知し、訴えがあった子供から担任が丁寧に話を聞いて事実確認を行い、行為を行った子供へ指導を行いました。

以下は、子供が作ったいじめ防止の標語です。学校では、子供自身の自主的ないじめ未然防止の活動を後押しするとともに、全ての教育活動をとおして豊かな情操と道徳心を培い、心の通う対人交流能力の素地を養ってまいります。

○「だいじょうぶ？」

小さなひとこと 大きなみかた

3年 佐藤 彩翔(さとう あやと)

○ 友だちの

キズつく心に 気づける心

4年 伊藤 榛真(いとう はるま)